

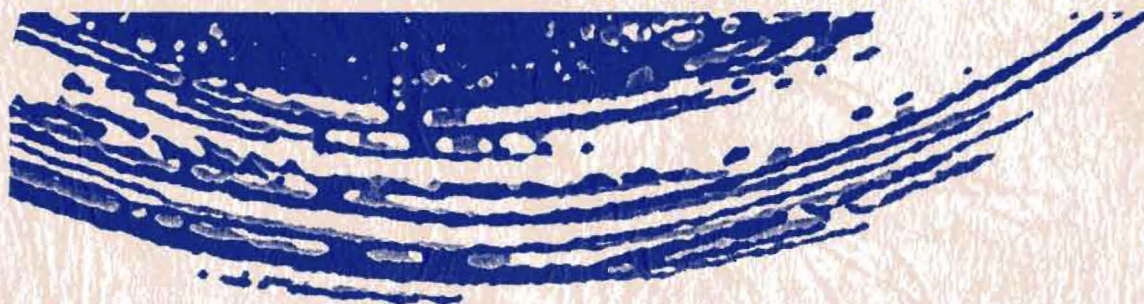
FORUM

早稲田都市計画フォーラム

早稲田大学 早稲田都市計画フォーラム寄附講座
公開シンポジウム ' 95

講演資料集

シンポジウムテーマ「分権化時代の地域創造を語る」



平成7年7月8日(土)・9日(日)

早稲田大学国際会議場

主催：早稲田大学 早稲田都市計画フォーラム寄附講座

後援：早稲田大学専門学校、日本経済新聞社、(社)日本都市計画学会

公開シンポジウム

日時

平成7年7月8日(土)
10:30~17:40
平成7年7月9日(日)
10:00~17:30

会場

早稲田大学国際会議場
JR高田馬場駅より都営バス「早大正門行」
又は地下鉄東西線「早稲田」下車
〒169-50 東京都新宿区西早稲田1-20-14
電話 03-5286-1755

資料代 5,000円

主催
早稲田大学 早稲田都市計画フォーラム寄附講座
後援
早稲田大学 専門学校、日本経済新聞社、社団法人 日本都市計画学会

シンポジウムテーマ 「分権化時代の地域創造を語る」

地方分権の広がりとは住民・自治体による地域づくりの強化を要請する。

それは21世紀に向かっての地域創造の新段階を意味するだろう。

都市が、地域が自立し主役となるために必要不可欠な条件とは何か。

早稲田出身メイヤーズやまちづくりに関わる者たちの

豊富な体験と実績を通して、

そのパースペクティブを考える。

申込・問合せ先 早稲田大学理工学部建築学科 後藤研究室(担当:岡村・三宅) 〒169 東京都新宿区大久保3-4-1 電話03-3208-7288・FAX03-3207-8137
参加ご希望の方は、ハガキまたはFAXにてお申込み下さい。

P R O G R A M

7月8日(土)

早稲田メイヤーズ会議

10:30~10:50 開会・総長あいさつ
10:50~12:30 討論会「参加と分権のすがたと意義」
12:30~13:30 休憩
13:30~16:30 分科会
分科会 I
都市空間の安全性を考える
分科会 II
変革期の都市経営を探る
分科会 III
意欲・発想・実行力で地域をおこす
16:30~17:40 全体集会・閉会
18:00~20:30 懇親パーティ 於:大隅ガーデンハウス
(懇親会の参加費は別途)
会 員 5,000円
非会員 10,000円

7月9日(日)

早稲田都市計画フォーラム 1995シンポジウム

10:00~10:10 開会
10:10~12:30 寄附講座
公開授業
「現代都市・地域論演習A」
12:30~13:30 休憩
13:30~17:00 円卓バトル会議
「まちづくりのコスモス」
17:00~17:30 総括集会・閉会

FORUM

早稲田都市計画フォーラム

大学での都市計画・地域計画の教育・研究の支援、相互の研究・交流を通じて、新しい形での都市・地域のあり方を求めていこうとする任意の組織です。母体は、寄附講座を支援する民間プランナー45社で出発しましたが、現在は広く、民間・公共等所属・出身を問わず自由な参加のもとで教育・研究の支援・実行および相互の研鑽・交流の場とするものとなりました。会員の参加を募っています。当日も会員受付をします。

(年会費一口5,000円、社会人は二口以上、法人会員も受け付けます)

事務局 新宿区大久保3-4-1 早稲田大学理工学部55号館N棟7階04B号室 FAX03-3207-8137

公開シンポジウムの内容

7月8日 早稲田メイヤーズ会議

討論会 参加と分権のすがたと意義

激変する社会経済情勢の下、21世紀に向かって都市や地域のあり方が厳しく問われている。地方分権が進み、自治体レベルでの権限が増大し、自立性・主体性が要請されるようになると、これまで以上にトップ自らの地域に対する明確なビジョンや地域経営理念、住民対応への姿勢等が問われる。そのためには多様な立場の交流によって、知に生命を蘇らせ、新たな世界の構築を図る努力が大切となるに違いない。これからの都市づくり、地域づくりを求めて討論したい。

パネリスト 榛村純一(掛川市長)・岸宏一(山形県金山町長)・戸沼幸市(早稲田大学)
コーディネーター 田村和寿(都市計画連合アトリエ)

分科会Ⅰ 都市空間の安全性を考える

死者5,000人を超える阪神・淡路大震災は、安全を行政まかせにしてきた都市の脆弱さを見せつけた。高齢化・国際化社会の到来という課題を前に、安全で住み良い都市をつくるために、住民と自治体はどのような関係の下に何を優先してつくっていけばよいのか。都市経営の視点から、都市の安全確保に必要なモノづくりを考えたい。

パネリスト 松浦幸雄(高崎市長)・小久保正雄(兵庫県北淡町長)・島村慎市郎(越谷市長)・石川鎌治郎(秋田市長)
コメンテーター 吉田洋子(宅地開発研究所)・村田真(日経アーキテクチュア)
コーディネーター 浅野光行(早稲田大学)・山田孝司(山中山田造形舎)

分科会Ⅱ 変革期の都市経営を探る

生産者主権から生活者主権へ、一元的な社会から多面的な社会へ、ピラミッド構造からネットワーク構造へ、都市化の時代から都市の時代へ……社会経済構造の変革の中で自らの知恵をはたかせ地域間で豊かさを競い合う時代を迎え、都市経営への新たな視点、戦略、提言を集う。

パネリスト 川口市雄(熱海市長)・宮城篤実(沖縄県嘉手納町長)・土屋正忠(武蔵野市長)
コメンテーター 森野美徳(日本経済新聞)・古居みつ子(夢工房)
コーディネーター 内田勝一(早稲田大学)・鈴木進(インテグラルコンサルタンツ)

分科会Ⅲ 意欲・発想・実行力で地域をおこす

地域の時代といわれて久しいが東京への一極集中は依然として進んでいる。このような状況のなかで奮闘する首長の地域づくりの実践には密度の高い時間の経過があるものと想像される。分権の時代にさらに重視される地域創造への意欲・発想・行動力。これらが培われ、共有され、地域に蓄積されていくプロセスと構造を考えたい。

パネリスト 今井晶三(豊岡市長)・早川芳忠(倉吉市長)・近藤浄太(新潟県金井町長)・竹内謙(鎌倉市長)
コメンテーター 政所利子(玄)・富田宏(漁村計画研究所)
コーディネーター 宮口侗迪(早稲田大学)・遠藤二郎(都市デザイン)

7月9日 早稲田都市計画フォーラム 1995シンポジウム

寄附講座 公開授業「現代都市・地域論演習A」

「現在のまちは、もはや市民の主体的参加なしには、救いようがない」という問題意識から、演習Aでは、人と人のコミュニケーションを手助けする技術や、まちづくり参加を促す手法について学んでいる。ここではその中から自分と違う立場を演じて議論する「ロールプレイディベートゲーム」を学生参加で実際に行う。

寄附講座の経緯と成果について
佐藤滋(早稲田大学)
講師
卯月盛夫(早稲田大学専門学校)

円卓バトル会議 「まちづくりのコスモス」

まちづくりを巡る議論が盛んだ。いろいろな試みも行われている。政治経済環境が激変する中で、対応するように行政の組立、コミュニティの機能など、国家と地域の構造も〈変革〉の方向にある。震災の復興まちづくりをめぐる過程も、実はそうしたコンテクストに絡みとられているように見える。今、まちづくりの状況そのものが、カオスを内包したコスモスとして、私達を包み込んでいるのだ。まちづくりのさまざまな今日的な問題をこの円卓に持ち寄ろう。そして根底から議論したい。

藤井敏信(十文字女子短大)・松村茂(東北芸工大学)

浦野正樹(早稲田大学)・梶島邦江(聖徳大学)・倉田直道(アーバンハウス都市建築研究所)・田中滋夫(都市デザイン)・田村和寿(都市計画連合アトリエ)・中川義英(早稲田大学)・中村哲也(プランナー)

五十嵐敬喜(法政大学)・井上赫郎(首都圏総合計画研究所)・内田雄造(東洋大学)・大野嘉章(練馬区役所)・齊藤祐子(空間工房101)・早田宰(早稲田大学)・富田宏(漁村計画研究所)・長谷川正允(長谷川正允建築事務所)・浜田甚三郎(首都圏総合計画研究所)・宮城道子(十文字女子短大)